

平成23年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	唐津市立七山小学校 唐津市立七山中学校		
2 所在地	唐津市七山藤川 2263 番地 1		
3 校長名	白水 信義		
4 学級数 児童生徒数	9学級 192人 (H24.1.31)	5 実施学年 児童生徒数	1～9（中3）年 188人(H23.12.22.)

6 取組のねらい

「車いす学習」…車いすで生活する体験を通して、「物理的な障壁」をはじめさまざまな障壁に気づき、共に生活する人としての考え方を深める。また、「意識上の障壁」に気づかせ、誰もが自由な意思を尊重され、自分らしく安心して暮らせるように自分はどうすべきかを考えさせる。

7 取組の実際

◎「車いす学習」

学級で4～5人のグループをつくり、交代で車いすに乗りながら、朝から帰りまで一緒に生活する。

- 期間 1・2年…1日、3～6年…2日間、7～9年…3日間
- 時期 6月…9年 7月…2年 9月…6・5年（2年*2回目）
10月…4年 11月…3・7年 12月1・8年

○ねらい

<基礎的段階>

- ①車いすに触れる…車いすの構造や使い方、留意点を知る
- ②車いすを使う…車いすに実際に乗り、授業を受けたり校内を移動したりすることにより、車いすで生活することを体験する。
- ③車いすの援助をする…車いすを使う人のそばで行動することにより、援助のしかたや接し方を知る。

<発展的段階>

- ④車いすで生活する…車いすで生活する体験を通して、その感覚や気持ちを体験的に学ぶ。
- ⑤車いすで生活する人のそばで生活する…そばで生活することを通して、共に生活するものとしての在り方を学ぶ。

<最終段階>

- ⑥ともに生活するものとして考える…現在の社会の現状に関心を持ち、問題点や課題をとらえ、課題解決のための方策を調べたり、よりよい社会を創るために必要なことや大切なことを考えたりしながら、実践しようとする。人権意識を高め、人権感覚を磨き、人権尊重の態度を養う。

○学習の実際

・ワークシート

車いす学習の約束

①すべての行動をグループで行うこと。困ったことなどはグループ内で話し合うこと。
②危険なことは絶対にしないこと。
③車いすの人が自分でできるようにすること。

グループ内の分担を決めましょう。

日	時	授業	場所	車いす	12月6日 火曜日	12月7日 水曜日	12月8日 木曜日
		① 英語	教室	全員			
		② 総合	校内	全員			
		③ 英語	教室				
		④ 理科	理科室				
		給食	教室				
		昼休み					
		⑤ 英語	教室				
		⑥ 英語	教室				
		⑦ 社会	教室				
		⑧ 総合	教室				
		⑨ 英語	教室				
		⑩ 英語	教室				
		⑪ 英語	教室				
		⑫ 英語	教室				
		⑬ 英語	教室				
		⑭ 英語	教室				
		⑮ 英語	教室				
		⑯ 英語	教室				
		⑰ 英語	教室				
		⑱ 英語	教室				
		⑲ 英語	教室				
		⑳ 英語	教室				

*できるだけ車いすの回数が均等になるようにしましょう。
*授業だけにかたよらないようにしましょう。また、グループの全員が必ず毎日乗るように振り分けましょう。

・左は、8年生 役割分担表

・右は、3年生 気づき記録用紙

1. 活動しながら、気づいたことや思ったことを書く。

日	時	授業等	車いすに乗る人	気づいたことや思ったこと
11月14日		① 学級活動	全員	
		② そうじ	全員	
		③ 算数		
		④ 体育		
		きょうぎ		
		昼休み		
		そらじ		
		⑤ 理科		
		朝の会		
11月15日		① 算数		
		② 算数		

○活動のようす・・・授業、給食、集会などすべての学校生活を車いすで行動しました。

〔授業〕 1年生



5年生

5年生



7年



9年生



〔階段〕 4年生



〔給食〕 2年



3年生



車いす学習をふりかえって

名前()

1. あなたは、2日間、車いすの学習をして、どんなことを感じたり、思ったりしましたか。

思ったよりむずかしかったです。車いすを、運ぶときも人に車いすをだす必要がありました。最初は体験でやってくれればいいと思って来てみたら本当に足が不自由な人がこんなにきつい人だと思いました。2回行ったり1回に行ったりして車いすを運ぶのが大変でした。1人で車いすを運んでいこうと友達の手伝ってくれました。手伝ってくれてくれたので、学習の時、書くのが少し楽になりました。かたづけるときは水を流うのが少し楽かったです。実際に乗ると思ったよりタイヤをまわすのが思うよりに行きませんでした。消しゴムが落ちて拾うのがとても大変でした。足の不自由な人は、いきなりとこぼれはさくから大変だと思いました。

2. 今回学んだことを、これからどう生かしていきたいですか。

車いすの人がいたら助けたいことを生かしたいです。

3. おうちの方から一言お願いします。

車いす体験をとおして、いろんな事が勉強になりました。おうちの方から一言お願いします。おうちの方から一言お願いします。おうちの方から一言お願いします。

4年生(左)

5年生(右)

車いす学習をふりかえって

名前()

1. あなたは、2日間、車いすの学習をして、どんなことを感じたり、思ったりしましたか。

まずは車いすに乗っている人の気持ちを考えようと思いました。だんがあるところや階段をどう登るのかなど、車いすで移動するときなど、いろんなことがしりたかったです。一つ目は車いすで移動するときも動くとと、ずーと自分でしていると手がつかれませんでした。君も、いつも車いすなので、きついと思いました。君は、階段はきりかてががんばってのぼるって、まあ、わりと車いすに乗ることは、とてもつらいし、きつさが分かりました。

2. 今回学んだことを、これからどう生かしていきたいですか。

君が車いすに乗っていて私も乗ったとき、痛りにくいことがあったので、君が通るときは、通れるようにしてあげたいです。

3. おうちの方から一言お願いします。

とても貴重な体験をさせていただきました。この体験を今後の生活に生かしたいと思います。

6年生

7年生(中1)

車いす学習を通して学んだこと...

6年 組 号 名前

★車いす学習を終えて、乗る人の立場、介助する側の立場の両方から考えることができたと思います。この学習を通して、自分が学んだこと、またその学びを生かしたいことを書きましょう。



車いす学習を通して...

こんなことに気づきました、こんなことを感じました、こんなことを考えました、例えば、

車いすの人が2階で生活をするとしたら、どんなことを配慮しなければなりませんか。

- 教室では、じゃまになるものや物を遠くまでとけて、その人ができることはできるだけ手を助さないようにする。
- ろう下むひさな段差があったら、声をかけながら係助する。
- できるだけほかの人と変りないようにつまむ。
- 「かわいそう」楽しそう、などの言葉を下級生などかかしては注意する。また、自分と言わないようにする。
- 階段などで係助するのに、「めんどうくさい」と言わないようにする。
- 車いすの人に環境を合わせる。
- 車いすだからといって特別あつかいをせず、一つの個性として考える。

車いす学習で学んだことを ↓ こんなことに生かしていきたいです。

- もし、学校に車いすの人が入学または転校してきたら今回学んだことを生かして行動し、生活していきたいです。
- 車いすだけでなく目が見えない人、耳が聞こえない人、いろいろな人がいると思うけどそういう人といっしょに生活するときにも生かしていきたいです。

3日間車いすで生活してみて、どのようなことを考えましたか。まどめのつちりて書いてみよう。

私は3日間車いすで生活してみ、いつも車いすで生活していた人の気持ちが少しだけわかりました。この3日間と最初思ったのは、とにかく、動きにくいという事です。

教室では、人や机があるので全く動けなくて、ろうかも人やイスがあるので通りにくかったです。そして、並んでいる人との視線が違っているので、話に入りにくくて、こりついているような感じでした。車いすに乗っている人は、イスや机があって、通りにくく、人との接し方も考えなければいけないのだなと思いました。でも、私のクラスの人は、

車いすをおしてくれたり、机やイスを動かしたりしてくれてすごく生活しやすかったです。それに、クラスのみんなも、手伝ってくれて優しいなと思いました。声かけもしてくれて、私も他の人にそうしようと思いました。

私がこの体験でおかきもう一つの事は、「すごいな事でも気を付けて」という事です。これを思ったのは、私が車いすに乗っていて、みんなが階段から降りしてくれている時でした。車いすを持っている人が、「お、お無理!!」とが、「お、お」と言っているのを聞いて、すごく不安になりました。二人なすごい事なのに、不安になったので、気を付けて、声かけも大事な人だなと実感しました。

このように、車いすの人の気持ちを考え、行動したいし、ろうに生活できるようにしたいです。そして、この体験を将来に生かしたいです。

